

大雪山系縦走山行報告

(山 域) 大雪山系
(コ ー ス) 層雲峡⇒黒岳⇒忠別岳⇒トムラウシ山⇒トムラウシ温泉
(登山方法) 小屋泊り縦走
(山 行 日) 平成 29 年 7 月 25 日(火)~7 月 27 日(木)
(天 候) 7 月 25 日 晴れ 26 日 快清 27 日 晴れ
(参 加 者) 篠塚 勇 (単独)
(山行タイム)

7 月 25 日 黒岳 7 合目リフト 13:30⇒黒岳 15:00⇒黒岳石室 15:20

26 日 黒岳石室 4:30⇒北海岳 7:40⇒白雲岳分岐 9:00⇒高根ヶ原分岐 10:40⇒忠別沼 12:30
⇒忠別岳 13:30⇒忠別岳避難小屋 14:40

27 日 忠別岳避難小屋 4:20⇒五色岳 5:10⇒化雲岳分岐 6:00⇒ヒサゴ沼分岐 6:20⇒
ヒサゴのコル 6:50⇒天沼 7:20⇒北沼分岐 9:00⇒トムラウシ山 9:40⇒
前トム平 11:30⇒コマドリ沢分岐 12:20⇒カムイ天上分岐 13:50⇒
短縮コース登山口 15:10

(山行報告)

日本百名山に挑戦中の 7 年前、大雪山系三座を山行の際、いつかはこの山塊を縦走したいという思いに駆られ、今回念願が実現した。

大雪山系の報告はこれまで何組もあるので、簡単な報告とします。

◎1 日目(7 月 25 日)

自宅を 4 時 30 分発、袖ヶ浦 BT~羽田空港~旭川空港に 8 時 45 分着。総合案内でガスボンベを調達、バスで旭川駅へ、乗り継いで層雲峡 BT に 12 時 35 分着。ロープウェイとリフトで 7 合目に 13 時 30 分着。いよいよ縦走のスタートだ。

黒岳頂上までは急坂が続き 1 時間半程で頂上へ。遠くまで見渡せるが山名がよく判らない。下りでは所々に小さなお花畑が現れ目を楽しませてくれるが花名が判らない。黒岳石室に 15 時 20 分着く。テントは持参したが、小屋泊は 15 名程でスペースも充分過ぎる位なので小屋泊とする。22 時頃から 3 時間程強い雨が降る。翌日、途中会った人の情報では白雲岳キャンプ場のテントで浸水騒ぎがあったらしい。

◎2 日目(7 月 26 日)

3 時半起床。雲一つない最高の天気だ。8 割方の人が御来光を拝みに桂月岳に登る。今日の宿泊予定地はヒサゴ沼避難小屋なので早々の 4 時 30 分に出発。気が急いでいたせいか、北海岳の登り口を間違えてしまい、ロス時間は 1 時間超で、この先挽回しようと急ぐと碌なことがないので、この時点でヒサゴ沼避難小屋行きは断念する。旭岳が間近に見えるなだらかな山頂の北海岳。白雲岳分岐には銀仙台方面から登って来る人・白雲岳に向かう人が 15 人位いる。白雲岳からの展望は素晴らしいと聞いたが私はスルーして先を急ぐ。白雲岳避難小屋手前の雪解水を腹一杯に飲む。冷たい水が全身に行渡り生帰ったようだ。白雲岳避難小屋で一服していた管理人に忠別岳が判らなかったので聞く。かなりの歩きごたえがありそうだ。平担で単調な歩きが続く高根ヶ原付近。豊富なお花で癒やされる忠別沼付近。

なだらかな登り坂が続き白雲岳避難小屋から4時間を要して忠別岳山頂だ。誰もいないので早々に下山を開始、忠別岳避難小屋に14時40分到着だ。ここも雪溪の雪解水が豊富だ。たらふく水を飲み、飲水・食事水を補給、体の汗を拭きリフレッシュする。泊りは余裕の9名だ。

今日は一日中空気の清み渡った晴天で適度な風もあり最高の登山日和だった。情報では今日の夜から天気が崩れるとのこと。明日は体調次第で南沼キャンプ場のテント泊も考えたが、トムラウシ温泉まで下山することにする。

◎3日目(7月27日)

3時起床。雲の合間から星がちらほら見えるまあまあの天気だ。準備に手間取り4時20分の出発。目標はトムラウシ温泉16時15分発のバスで、間に合わなければ東大雪荘泊りだ。ハイマツ帯の朝露でビショ濡れになり五色岳へ、トムラウシ山は南側からのガスで覆われている。ホシガラスが飛び交う中、暫らく進むと木道が見えてきた。この当りからガスもとれ一部雲はあるものの、上々の天気だ。五色ヶ原は花の種類も豊富で歩くこと30分間も続く高山植物の大群落地帯だ。私の感想は今回の縦走路で一番見応えのあるお花畑だろう。化雲岳分岐から巻道でヒサゴ沼分岐、ヒサゴのコル、日本庭園へと。ここから先、巨石と岩礫地帯がコマドリ沢まで続いた(約5時間)。巨石渡りはバランス感覚が衰えた身には、ステッキで抑えながら慎重に岩から岩へと飛び移る。踏み外すと大怪我だ。100m位の急坂が三ヶ所もあり、ここへ来ての約300mの登りはきつい。小屋から5時間20分ついに久しぶりのトムラウシ山頂に9時40分到着だ。展望は少し霞みが掛かっているがまずまずだ。人気の山だけあって頂上には20人位、後続もぞくぞくと登って来る。15分程休憩し下山を開始する。下山の予定コースタイムは約6時間だ。二度程きつい登山口から車で同乗させてもらおうと思いつき、温泉コース分岐から短縮コースへ、大幅短縮の15時10分に着く。運よく車に乗ろうとする40代の男の方にお願ひし東大雪荘まで同乗させてもらおう。話では鳥取県からで、百名山登頂を目指し今回で96座目、奥さんとお子さん2人も山登りをする登山一家とのこと。東大雪荘に15時30分に着く。感謝感謝。何とか入浴ができそうだ。ゆっくり入っていたい温泉だが、大急ぎで入浴を済ませ、ビールで喉を潤し、新得駅行きのバスに乗る。乗客は6人と少なかったが有難い足だ。特急で南千歳駅～千歳空港駅～千歳空港20時30分発、羽田空港からバスで袖ヶ浦BTへ、23時30分に帰宅。

事前情報では、夏場は避難小屋が混み宿泊できない場合もあるので、テントを必ず持参するようとのことだったが、小屋は空いておりテントは使わずに済んだ。

3日間とも天気に恵まれ、大自然に触れお花を愛でキツイながらも念願叶い、身体にも自信が持てた思い出に残る山行でした。

以上



初日の山小屋 黒岳石室



白雲岳分岐より(左奥忠別岳(右側崖)、中央化雲岳、中央奥王冠が遥かなるトムラウシ山)



五色ヶ原のお花畑



やっと辿り着いたトムラウシ山頂